

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県 嵐山町

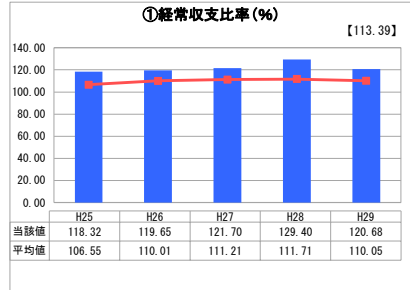
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	86.12	99.86	1,863	

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
17,944	29.92	599.73
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
17,939	29.85	600.97

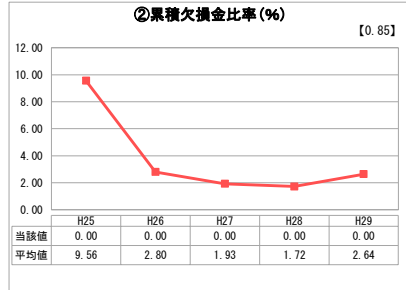
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

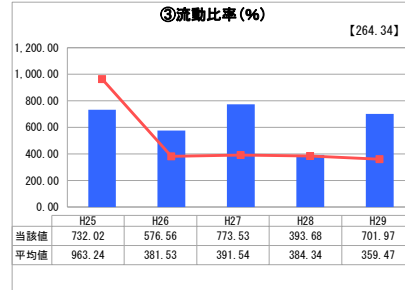
## 1. 経営の健全性・効率性



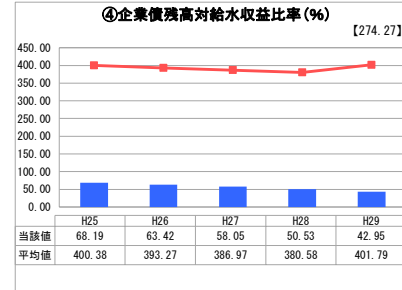
「経常損益」



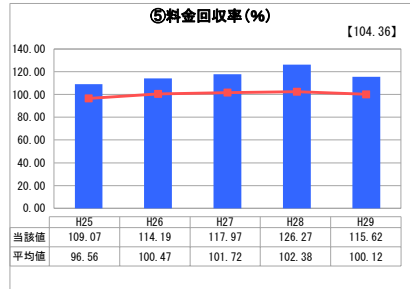
「累積欠損」



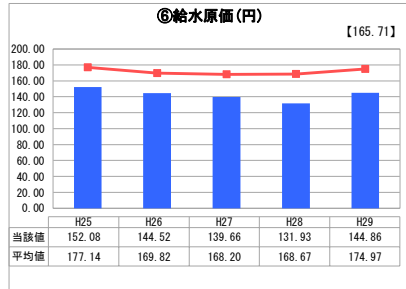
「支払能力」



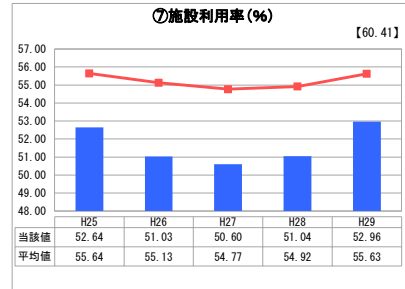
「債務残高」



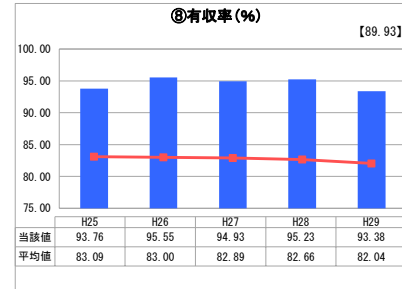
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損比率  
 経常収支比率は前年比-8.7ポイントの減少ですが、類似団体平均値や平成29年度全国平均を上回っており良好な状況です。

③ 流動比率  
 短期的な支払能力を示す値で、類似団体平均値や平成29年度全国平均を大幅に上回っており大変良好な状態です。

④ 企業債残高対給水収益比率  
 当事業は、毎年借入をせず事業運営しており、企業債残高は減少の一途です。

⑤ 料金回収率  
 一般家庭向け料金は減少傾向ですが法人向け料金が好調なため類似団体平均値や平成29年度全国平均を上回り安定しています。

⑥ 給水原価  
 給水1m<sup>3</sup>あたりの製造費で、費用対効果を考えて企業努力をしているため類似団体平均値や平成29年度全国平均を上回った良好な状況です。

⑦ 施設利用率  
 類似団体平均値や平成29年度全国平均と同程度の値であるが下回っており、施設の再検討が必要です。

⑧ 有収率  
 類似団体平均値や平成29年度全国平均を高い数値で上回っており、今後も一層の数値上昇を目指します。

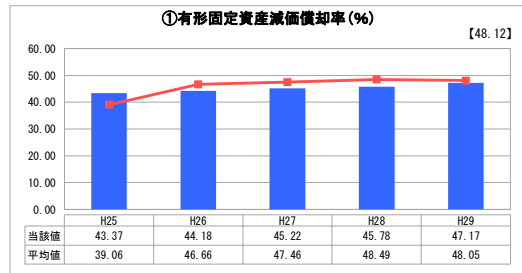
### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
 類似団体平均値や平成29年度全国平均を下回っており、施設の老朽化は横ばい傾向です。

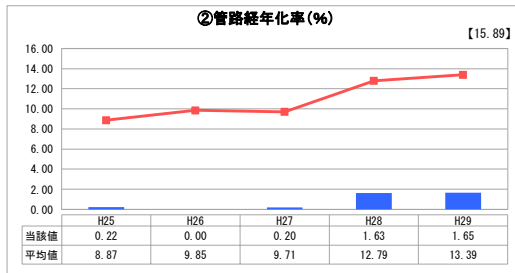
② 管路経年化率  
 当年度は昨年度に比べて若干の増加でしたが、引き続き解消するように努力します。

③ 管路更新率  
 前年度までは、毎年多額の投資をしていたが、当年度は投資が低調であった。引き続き管路更新を進めてまいります。

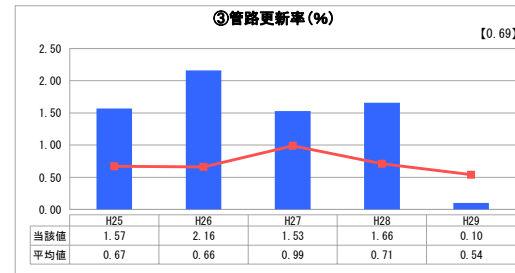
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 全体総括

当町の水道事業は、昭和38年の簡易水道開始以来、水道法の目的を目指し、清浄にして豊富低廉な水の供給に努めてまいりました。

現在の当町の水道事業の経営の健全性や効率性は昨年度に引き続き、きわめて順調に推移しています。また、老朽化の状況につきましても経営が順調なために当年度は低調でしたが必要な投資が行えているため適切に更新できています。今後もこの良好な状況を維持向上させるために常日頃から経営手法の研究を重ね、経営の効率性を高めてまいります。また、施設の再配置や再検討を進め、より効率的な人口減少などに対応可能な配水塔などの水道施設を嵐山町第2次水道事業基本計画やこれらから作成する予定の経営戦略に基づいて更新を進めてまいります。

これらの施策により、当町の水道事業の目標であります。安全・安心・安価で豊富な水を将来に向かって安定して送り届けられますよう邁進してまいります。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。